学校番号	318

令和８年度　数学科

教科	数学	科目	数学Ｃ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	新編　数学Ｃ　（数研出版）						
副教材等	３TRIAL　数学Ⅲ＋Ｃ　（数研出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業では、課題に対して、自ら考える、また、周りの人とともに考える活動を行います。
　人に教えるということは自身の理解に大きくつながります。受講生自身が問題を黒板に解き、解説したり、受講生同士が共に学びあうような活動を行います。
・授業で学習した内容は問題集等を利用して復習を行いましょう。
・問題集用のノートを用意し、問題集の問題をまず自分で解いてみましょう。ただ答えを求めるだけでなく、途中式や考え方も書くようにしましょう。また、各自答え合わせをしてください。答え合わせは、自分がどこでつまずいたかを知るための大切なものです。
・家庭学習における課題は、定期的に提出してもらいます。最後まであきらめずに取り組みましょう。

2　学習の到達目標

平面上のベクトルや空間ベクトル,複素数平面と平面上の曲線についての基本的な知識や技能を習得します。また、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにします。さらに、それらを活用する態度を身に付けることを目標とします。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	上記の内容について、基本的な概念，原理・法則などを体系的に理解し、事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能技術を身に付けている。	上記の内容について、事象を数学的に考察し表現したり，思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して，数学的な見方や考え方を身に付けている。	上記の内容について、数学的な考え方に関心をもつとともに，数学のよさを認識し，それらを事象の考察に活用して数学的な考え方に基づいて判断しようとする。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	第1章　平面上のベクトル	第1節　ベクトルとその演算 1. ベクトル 2. ベクトルの演算 3. ベクトルの成分 4. ベクトルの内積	a:ベクトルの意味や演算のしかたを理解している。 　内積の図形的な意味を理解している。 b:内積の図形的な意味を考察することができる。 c:内積の計算や図形的な意味を理解しようとする。 　内積の性質を理解し,問題解決に活用しようとする。	定期考査 小テスト	定期考査 小テスト 探究学習	 探究学習 振り返りシート
		第２節　ベクトルと平面図形 １．位置ベクトル ２．ベクトルの図形への応用 ３．図形のベクトルによる表示	a:位置ベクトルやベクトル方程式の利用法を理解している。 b:図形の性質の証明について,ベクトルを用いて考察することができる。 　図形の計量について，ベクトルを用いて考察することができる。 c:ベクトルが平面図形の性質の考察に活用できることに関心をもつ。			
	第2章　空間のベクトル	1. 空間の点 2. 空間のベクトル 3. ベクトルの成分 4. ベクトルの内積 5. ベクトルの図形への応用	a:空間座標や空間のベクトルおよび分点の表記を利用した図形の表し方を理解している。 b:空間のベクトルを利用して,分点の位置ベクトルなどを考察することができる。 c:空間のベクトルに関心をもち,平面上のベクトルの考え方をもとに空間のベクトルに拡張して考えようとする。			

2学期	第3章 複素数平面	1. 複素数平面 2. 複素数の極形式 3. ド・モアブルの定理 4. 複素数と図形	a:複素数を極形式で表したり，その演算を図示したりすることができる。 複素数の方程式を，極形式を用いて解くことができる。 b:複素数を極形式で表示して，複素数の演算と複素数平面での表示を関連付けて考察することができる。 複素数を極形式で表示して，複素数平面での図形的な考察をすることができる。 c:複素数を複素数平面上に図示したり，極形式を用いて表すことに関心をもつ。 複素数を極形式を用いて表したり，複素数平面上に図示したりして，事象の考察に活用しようとする。	定期考査 小テスト	定期考査 小テスト 探究学習	探究学習 振り返りシート
	第4章 式と曲線	第1節 2次曲線 1. 放物線 2. 楕円 3. 双曲線 4. 2次曲線の平行移動 5. 2次曲線と直線	a:平行移動した 2 次曲線の方程式からの移動量の求め方や，2 次曲線の接線の方程式の求め方を理解している。 b:2 次曲線の平行移動や接線などをそれを表す方程式と関連付けて考察することができる。 c:2 次曲線の性質などの考察に方程式を活用しようとする。			
3学期		第2節 媒介変数表示と極座標 1. 曲線の媒介変数表示 2. 極座標と極方程式 3. コンピュータの利用	a:媒介変数表示や極座標を用いて表された曲線が，どのような曲線を表すかを求めることができる。 b:媒介変数表示や極座標を用いた事象の考察をすることができる。 c:いろいろな曲線を，媒介変数や極座標を活用して調べようとする。	定期考査 小テスト	定期考査 小テスト 探究学習	探究学習 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度